

# 生徒指導規程

みらさか小学校生徒指導規程

[細則]



三次市立みらさか小学校

一年間、家で保管をして活用しましょう。

# みらさか学園 生徒指導規程

## 第1章 総則

この規程は、三良坂中学校区で学校教育を受ける児童生徒の人格の完成を目指すとともに、保護者、教職員が協力して次代を担う児童生徒の健やかな成長を図るために定めるものとする。この規程は、義務教育9年間の見通しを持った指導について、三良坂中学校区内で共通認識、共通実践を図るためのものである。

### (目的)

**第1条** この規程は、三良坂中学校区の各学校の教育目標を達成するためのものである。児童生徒の人格の完成をめざして、自主的・自律的に充実した学校生活を送らせるという観点から必要な事項を定めるものである。

## 第2章 指導内容について

### 1 学校生活に関すること

#### (登下校)

**第2条** 登下校については、次のことを指導する。社会の一員として、交通安全ルールを守り、登下校をする。

#### (1)小学生の登下校

通学班での登下校を原則とする。集合時間、歩道でのマナーを守り通学路を通る。

#### (2)中学生の登下校

①徒歩通学は、歩道でのマナーを守り通学路を通る。

②自転車通学は、学校の自転車通学ルールに従い安全に留意して通学路を通る。自転車通学距離は、学校の基準に準ずる。

また、年度初めに「自転車通学届け」を校長に提出し、自転車通学が許可される。

安全確保の面から、自転車、ヘルメットには、記名し、ヘルメットはあご紐をきちんと結び着用する。また、1年生には関係機関の交通安全教室を4～5月に実施し、全員受講させる。ヘルメット未着用、2人乗り、改造自転車、自転車通学許可違反については特別な指導をする。

#### (登校・遅刻・欠席・早退・外出)

**第3条** 登校・遅刻・欠席・早退・外出については、次のことを指導し、望ましい生活習慣づくりをするために、登下校等に関する規程を定める。

(1)登校時刻は、各校の細則に準じ、時間 厳守とする。

(2)欠席の場合、8：15までに、保護者が欠席の理由を学校に連絡する。

(3)遅刻の場合、8：15までに、保護者が遅刻の理由を学校に連絡する。また、遅刻して登校した場合は、職員室に報告して、授業場所に行く。

(4)早退の場合、緊急時以外必ず、保護者が早退の理由、時間、早退時の下校方法（送迎する人や下

校手段等)を8:15までに、予め学校に連絡する。

(5)外出の場合、原則、登校したら、校外には出ない。特別な理由がある場合は職員室に連絡して許可を得る。

### (頭髪)

**第4条** 頭髪については、次のことを指導する。

学習活動や運動等の教育活動の妨げとならない清潔かつ自然な髪形や長さとする。

※改善が見られない場合、特別な指導を行う。

#### (1)髪形

ア 肩や目にかからない髪の長さとする。

イ 肩にかかる場合は、黒、紺、茶色のゴムで束ねたり、黒ピンで留めたりする。また、ゴムで束ねる場合、結び目は、耳より下で1つまたは2つ結びとする。

(2)染色・脱色・着毛・整髪料・パーマ・そりこみ・ツーブロック・アシンメトリー等、不自然な髪型等は禁止する。

※特別、配慮を必要とする場合は、学校へ相談する。

### (化粧・装飾・装身具・不要物)

**第5条** 学校での学習活動に必要なでないものは、持参しない。化粧・装飾・装身具・不要物については、次のことを禁止する。

(1)口紅(色付きリップクリームを含む) マスカラ等の化粧類

(2)マニキュア等の爪や皮膚への装飾

(3)ピアス、指輪、ネックレス、ブレスレット、サングラス、カラーコンタクト、ミサンガ等の装身具

(4)眉毛のそり落とし、眉毛の加工

※違反があった場合、特別な指導を行う。

(5)携帯電話や情報通信機器、デジタルカメラ、ゲーム類、マンガ、化粧品、装飾品持ち込み

※違反があった場合は、学校で預かり、保護者に指導した上で返却する。

※違反があった場合、特別な指導を行う。

### (指導・身なり等)

**第6条** 制服等、身なりについては、次のことを指導する。校内外の学習活動及び登下校時(休業日を含む)は、学校が定める制服・基準服(服装)を正しく着用する。

#### (1)制服等・自由服

①冬服 各学校の服装の細則に準ずる。

②夏服 各学校の服装の細則に準ずる。

③服装の移行 各学校の服装の細則に準ずる。

#### (2)シャツ

①白のカッターシャツ、ポロシャツを着用し、シャツ出しはしない。

②カッターシャツ等の下には、必ず、衛生面などを考えて、肌着を着用する。色は単色無地とし、シャツの上に目立たないような色を着用する。柄物は禁止する。

### (3)ズボン・スカート

#### ①ズボン

ア 腰パン（ズボンをずらした着こなし）や裾擦り（床に裾がつき破れる）変形等は禁止とする。

#### ②スカート

ア スカート丈は、起立した状態で膝の中央が隠れる程度の長さとする。

### (4)靴下

①各学校の細則に準じて、白色、黒色、紺色とする。ローソックス、ルーズソックス、色柄の入っているものは禁止とする。

### (5)通学靴

①各学校の細則に準じた、運動靴とする。登下校や学習で使用することから機能的なシューズを使用する。かかとを踏まない。

②雨天時や降雪時は、長靴を使用してもよい。

### (6)上履き・体育館シューズ

①各学校の指定のものを使用する。かかとをふまない。

### (7)名札

①各学校の細則に準ずる。

### (8)セーター・ベスト・カーディガン

①各学校の規程に準ずる。黒または紺の単色、無地とし、制服の裾からはみ出さない、また袖は手首より短いものを使用する。

### (9)ウインドブレーカー等、防寒着

①各学校の細則に準ずる。華美でないもの。

※違反があった場合は、特別な指導を行う。

## 2 生徒指導

指導を繰り返す児童生徒の場合、特別な指導を行う。

### (1)授業や部活動

①自分の持ち物には、必ず記名する。

②時間（チャイムの合図）を守る。

③授業時の挨拶、返事、言葉づかいを大切にする。

④学習については、各学校でのガイダンスの内容を守る。

### (2)休憩時間

①学校の外や、立ち入り禁止場所には行かない。

②校内放送は、静かに聞く。

③特別教室や、他の教室には、勝手に入らない。

④廊下等、校内を走らない。

⑤学校の施設や道具、草花や樹木、飼育動物を大切にする。

⑥整理整頓をする。(靴箱、机、ロッカー、掃除道具入れ、掲示物等)

(3) 保健室利用

①体調がすぐれない場合、保健室を利用することができる。利用時間は、2時間程度として、体調の回復が見込めない時は、学校から保護者に連絡をする。

②度重なる保健室の利用の場合、保護者に連絡し、医療機関への受診をすすめる。

③虐待の疑われる場合は、学校より関係機関に通告し連携して支援する。

※虐待：身体的、性的、ネグレクト、心理的虐待または疑われる場合。

※保護者としての監護を著しく怠る等、疑われる場合。

(4) 給食

①衛生面に注意して給食当番等をする。

(5) 掃除

①掃除は、学校の環境を整える学習活動の一つである。時間いっぱい丁寧に掃除をする。

(6) 教育相談

①学校は、児童生徒、保護者から教育相談の希望があった場合、スクールカウンセラーやこども応援センター等と連携する。

(7) その他

①卒業生や部外者の学校内への無断立入りは禁止する。用事のある場合は、職員室へ連絡する。学校の敷地内に入り、指導したにも関わらず、校外に移動しない場合、関係機関と連携する。

②学校内の施設設備、備品等を破損した場合や発見した時は、職員室に届け出る。場合によっては、関係機関と連携する。

③ケガや体調不良で、保護者に送迎をしてもらう場合は、学校の正門前や地域住民の迷惑になる場所で乗降車しない。

④上記、記載以外の内容については、各学校の細則に準ずる。

### 第3章 校外での生活に関すること

#### (校区外の生活)

この章については、保護責任の観点から保護責任についても記載する。

本章の指導は、学校・家庭・関係機関が連携をとり指導する。指導を繰り返す児童生徒の場合は、特別な指導を行う。

**第7条** 校区外の生活については次のことを指導する。

(1) 児童だけの校区外への外出

(2) 生徒だけの市外への外出

(3) 児童生徒だけの娯楽施設への入店（カラオケボックス、ゲームセンター、インターネットカフェ、ボーリング場、マンガ喫茶、ビデオ取扱店、映画館、大型店舗内のゲームコーナー、レンタルビデオ取扱店等）

(4) 児童生徒だけの外泊や夜間徘徊禁止

①保護者は、夜間（午後11時から翌日午前4時までの時間）児童生徒を外出させないようにする。

②保護者は、広島県青少年健全育成条例により、娯楽施設の利用にあたっては、同伴の場合であつ

ても、夜間の利用はしないようにする。

#### (5) 情報通信機器

- ①三次市は、学校への携帯電話の持込を原則禁止している。携帯電話等の情報通信機器については、家庭でのルールづくり、夜間の携帯電話の保管場所、情報通信機器（パソコン・ゲーム機等）のフィルタリングに努める。

#### (6) 酒・たばこ類等の購入

- ①保護者は、酒、たばこ類を児童生徒に購入させないようにする。

#### (7) 危険個所への立入り

- ①保護者は、立入り禁止箇所や廃屋、池等危険が予想される場所に児童生徒を立入らせないようにする。

#### (8) 交通違反

- ①保護者は、児童生徒を道路交通法に違反させないようにする。

## 第4章 特別な指導に関すること

### （特別な指導）

「社会で許されないことは、学校においても許されない。」ことであり、児童生徒が起こした問題行動を反省させ、事後よりよい学校生活を送るために自己を振り返り、適切な行動ができるよう指導する。

### （問題行動への特別な指導）

**第8条** 問題行動を起こした児童生徒には、教育上、必要と認められる場合は、特別な指導を行う。

但し、発達段階や常習性も配慮し指導を行う。

#### (1) 法令・法規に違反する行為

- ①窃盗・万引き・占有物離脱横領
- ②喫煙・飲酒
- ③暴力・威圧・強要行為
- ④公共建造物・備品等器物損壊
- ⑤交通違反
- ⑥性に関するもの
- ⑦薬物等乱用
- ⑧刃物等所持
- ⑨その他の法令・法規に違反する行為

#### (2) 学校の規則等に違反する行為

- ①暴力行為（対教師・生徒間・対人・器物損壊）

※相手に外傷等がなくても有形力の行使が暴力行為となる場合もある。（体当たりや腕で突く、胸ぐらをつかむ等）

- ②喫煙・飲酒及び準備行為（購入・所持・行為同一場所滞在）

### ③いじめ

定義「一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的苦痛を感じているもの」

④登校後の無断外出，無断早退

⑤指導に従わない（指導無視・暴言・授業エスケープ・授業中の無断立ち歩き・授業妨害行為等）

⑥携帯電話の持込み

⑦学習等に必要のない不要物持込み

⑧不正行為（テスト等のカンニング等）

⑨家出及び深夜徘徊

⑩金品強要

⑪無免許運転及び同乗

⑫無断アルバイト

⑬暴走族等，関係団体への加入及び参加

⑭不健全娯楽や不純異性交遊

⑮情報機器等を介した誹謗中傷の書き込み

⑯その他，学校が教育上指導を必要とすると判断した行為

#### （反省指導等）

**第9条** 特別な指導のうち，反省指導等は，次の通りとする。但し，発達段階や常習性も配慮し指導を行う。

(1)説諭による指導

①口頭による説諭指導（短時間での指導）

(2)学校反省指導

①別室による反省指導

（1～2時間→半日→1日→3日→5日）

②授業観察による反省指導

（1日→3日→5日）

③奉仕作業による反省指導

（1日→3日→5日）

④教育相談と反省指導を複合した指導

（スクールカウンセラー・こども応援センター等）

⑤保護者来校による授業観察指導

（半日→1日→3日→5日）

⑥学校と保護者による協議

#### （反省指導の実施）

**第10条** 反省指導の実施については，原則，学校反省とする。

(1)反省指導は，登校させて別室で行う「別室反省指導」と通常の学校生活（授業等）で行う「授業反省指導」の2段階がある。

- ①反省指導期間中にある定期テスト等は別室で受験する。
- ②反省指導期間中にある学校行事や部活動の公式大会への参加は、別途協議する。

#### （反省指導の期間）

**第11条** 反省指導の期間については、次の通りとする。

別室反省指導の期間は、概ね1時間から5日とし、授業反省指導の期間は、概ね1日から10日とする。ただし、発達段階や問題行動の程度、繰り返し等により指導期間を変更することがある。

#### （特別な指導を実施するにあたって）

**第12条** 特別な指導は、児童生徒が自ら起こした問題行動に気づき、振り返る時間を通して、その時の適切な行動は、どうすればよかったのかについて考える。同じ問題行動を繰り返さずに、事後よりよい学校生活を送り、人格の形成を行うためのものである。この観点から、実施にあたっては、次の事項について明確にする。

- (1) 特別な指導は、学校体制として取組み、事実の確認、反省（振り返り）、再発防止のための具体的な約束や展望を持たせる。
- (2) 特別な指導を行うにあたっては、十分な事実確認を行い、指導記録を残す。
- (3) 特別な指導のねらいや期間、指導計画を明確にし、児童生徒・保護者・教職員で確認する。
- (4) 法令・法規に違反する行為、いじめ、暴力行為、その他、児童生徒で、指導を繰り返す場合は、関係機関に相談し、学校と関係機関及び保護者が連携して指導する。
- (5) 反省期間については、形式的にならないようにし、目的を明確にし、短期間で行う。（目安となる日数を第11条に明記）また、児童生徒の発達の段階も考慮して効果的に行う。

#### （規程の周知）

**第13条** 児童生徒を対象とする全校集会や保護者を対象とする入学説明会、全保護者が出席する入学式、PTA総会、学級懇談会、地域懇談会等で直接説明を行う。また、ホームページでの公開や、学校に来校のない保護者には、家庭訪問や郵送等を通じて、周知の徹底を図る。

#### （反省指導の内容）

「事実確認表」「振り返り表」「反省指導記録表」により指導する。

附則 この規程を基に、詳細については各小中学校の細則に準じる。

附則 この規程は、平成24年4月1日より実施する。

附則 平成27年4月1日一部改訂

附則 平成31年4月1日一部改訂

附則 令和5年2月1日一部改訂



# みらさか小学校生徒指導規程細則

## 1 生徒指導規程 第2章 「1 学校生活に関すること」について

### (1) 登下校について

- ① 朝，集合時刻に遅れない。
- ② 通学班で，班長を先頭に一行又は二列に並んで登下校する。
- ③ 出会った人には大きな声で挨拶する。
- ④ ぼうしをかぶる。
- ⑤ ぼうしを忘れた場合には保健室で借りる。使用後に洗濯して返す。
- ⑥ 下校集合時刻に遅れない。集まったら静かに座って待つ。

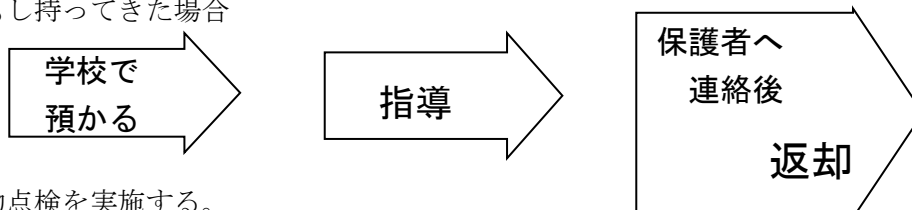
### (2) 服装等について

- ① 制服や体操服等の基準を守る。(別紙「PTAの基準服について」)
- ② シャツは，ズボンやスカートの中に入れる。
- ③ ソックスは白・黒・紺色。くるぶし以上で膝下の物とする。
- ④ 頭髪は，染色等は禁止し，清潔かつ自然な髪形や長さとする。(ツープロックやアシンメトリー等，不自然な髪形は禁止。) 肩や目にかからない長さで，長い場合は黒・紺・茶色のゴムで結ぶか黒ピンで留める。ゴムで束ねる場合，結び目は，耳より下で一つまたは二つにまとめる。
- ⑤ 体育の時間には，安全のためにシャツをズボンの中に入れ，必ず赤白帽子をかぶりゴムひもをかける。
- ⑥ 靴は，運動しやすいものにする。(別紙「PTAの基準服について」)

### (3) 持ち物について

- ① 持ち物には名前を書く。名前が消えかかっているもの，譲り受けたものも確かめる。
- ② 学習に必要な物は持ってこない。また，必要以上に物を持ってこない。

※ もし持ってきた場合



- ③ 持ち物点検を実施する。
- ④ 持ち物にシールなどで装飾をしたり，キーホルダーなどを付けたりしない。
- ⑤ 防犯ベルを持って登下校する。電池切れや故障で鳴らなくなっていないかどうか，時々確かめる。
- ⑥ 置き傘を1本用意しておく。
- ⑦ 暑い季節は，水筒・タオルを準備する。

### (4) 欠席・体育の見学の連絡について

- ① 欠席・遅刻の時・・・朝8：15までに学校に電話等で連絡する。通学班にも連絡する。
- ② 体育の見学・・・連絡帳や電話などで連絡する。

### (5) 電話使用について

- ① 私用電話は原則できない。事情によって必要な場合には、1回10円を後日支払う。
- ② 緊急の場合、連絡ができるようにしておく。

#### (6) 職員室の来室について

- ① 入室・退室の仕方を守る。(ノック、あいさつ、名前を言う。誰に用事かも言う。)
- ② 借りたいものがあるときは職員室に来室し、用件をはっきりと言い、許可を得てから借りる。
- ③ 借りたものは、きちんと返す。返すときには職員室で報告する。
- ④ 保護者が児童の忘れ物を届ける場合には、職員室に届ける。

#### (7) 公共物破損について

- ① 児童は、破損届けを書き、担任から保護者に連絡する。また、事情を聞き指導するが、原則弁償とする。

## 2 生徒指導規程 第3章 「1校外での生活に関すること」について

### (1) 生活

- ① 「3点固定」など、基本的な生活習慣を身に付ける。
- ② 朝食をしっかりとる。
- ③ 気持ちの良い挨拶を家庭や地域の人と元気よくかわす。
- ④ テレビやゲームは、曜日や時間を決める。
- ⑤ 自分でできる仕事や手伝いを進んでする。
- ⑥ むだ遣いをしないように気をつける。

### (2) 外出

- ① 自分の身を守るための「いかのおすし」を守る。  
「いかない」「のらない」「おおごえをだす」「すぐにげる」「しらせる」
  - ・ 一人では遊ばない。
  - ・ 遊びに行く時は、「どこで」「だれと」遊ぶのか、家の人に言って出かける。
- ② 帰宅時刻は、冬時間(9月～4月)は5時、夏時間(5月～8月)は6時。
- ③ 交通ルールを守り、正しい歩行・自転車の乗り方をする。自転車に乗る時はヘルメットを着用する。
- ④ 子どもだけの川など危険な場所で遊ばない。火遊びをしない。
- ⑤ 店には用事がある時だけ行くようにする。万引きなどの犯罪や店に迷惑をかけることをしない。

## 3 家庭での学習や準備について

### (1) 家庭学習の目的

- ① 学習習慣を身に付ける。
- ② 学習の仕方を身に付ける。
- ③ 繰り返し学習し、学習内容を身に付ける。

### (2) 家庭学習の約束

- ① 自分が決めた時刻に始める。
- ② 毎日、同じ時間、同じ場所で勉強する。

- ③ 宿題は、全部やりきる。分からないところは、次の日、先生に聞いてやりきる。
- ④ 集中して勉強する。  
(テレビを見ながら・音楽を聴きながら・食べながらなどの“ながら勉強”はしない。)
- ⑤ 勉強が終わったら、連絡帳を見ながら次の日の準備をする。
- ⑥ 家庭学習の時間のめやす  
低学年：20分以上 中学年：40分以上 高学年：60分以上  
土・日曜日には、1～2時間をめやすに勉強する。

(3) 忘れ物について

- ① 「〇〇を忘れました。」  
授業が始まる前に何を忘れたのかを先生に伝える。
- ② 「だから、隣の人に見せてもらいます。」  
「だから、〇〇を貸していただけませんか。」  
どうするのか自分の考えを伝える。
- ③ 「(忘れ物を借りた先生、隣の人に対して)ありがとうございます。」  
感謝の気持ちを伝える。

〈宿題を出さなかったり、忘れ物をしたりすることが続く場合〉

- ・ 学校でできることはする。
- ・ 電話をかけて持ってきてもらうことはしない。

(4) 学用品について

① 学校に持ってくる学習用具

- ☆ 学校は、学習をするところです。
- 学習に必要なものだけを持ってくる。
  - 持ち物には、全て名前を書く。

② 筆箱の中

- ☆ 次のものを入れてくる。
- けずったえんぴつ5本(2BまたはB、六角形が望ましい。)
  - けずった赤えんぴつと青えんぴつ
  - 消しゴム(よく消えるもの)
  - 名前ペン
  - ものさし

③ お道具箱の中

- のり
- はさみ
- 色えんぴつ
- その他・・・学年に応じて次のものを準備する。  
(クレパス、三角定規、分度器、コンパス)

